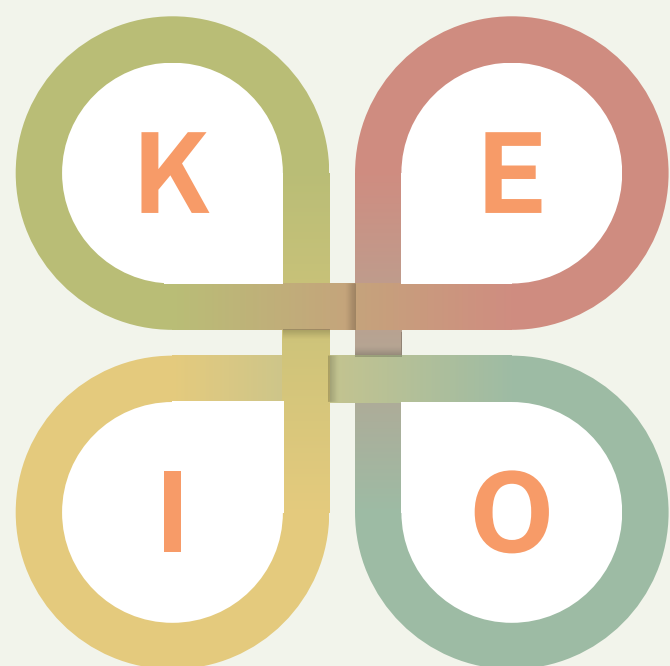




看護学専攻 入学のすゝめ



皆さんが看護・医療・福祉に関わる中で気づいた課題は誰かが解決していく必要があります。 **Keio** 義塾大学大学院看護学専攻プログラムで **Evidence** に触れ、 **Innovation** を起こし、あなた自身の **Objective** を達成してみませんか？

大学院で修得した知識と技能と態度は、激動の時代を生きる皆さんにとって人生の道標になるはずです。

本学大学院進学の特典

修士課程では、看護学の専門性に対応した4領域（14分野）を設置し、専門性の高い実践家、研究者、教育者を育成しています。

後期博士課程では、看護の開拓者、先導者たる研究者としての幅広い学識や普遍的な知識を探究する姿勢と能力を高め、先駆的で国際的な研究を遂行する力を養うよう継続的に指導をしています

1. 高い研究力の獲得

専門分野の専門科目にとどまらず、様々な専門科目を履修することで視野を広げ、社会の健康水準の向上に貢献できる研究者の育成をしています。複数の海外研修を備えていることも大きな魅力の一つです。

2. 専門看護師プログラム

修士課程の4分野に専門看護師（Certified Nurse Specialist: CNS）プログラムを設置し、高度実践看護師教育を行っています。本課程を修了することで専門看護師の受験資格が獲得できます。

3. 豊富な奨学金

在学中に利用できる多くの奨学金があります。学内の奨学金には返還不要なものもあります。詳しくはHPでご確認ください。

4. 魅力ある教員

「健康」を軸として、看護・保健・医療・福祉・公衆衛生に関わる幅広い領域において先導的な役割を果たす教員が皆様をお待ちしています。詳しくは裏面をご覧ください。

5. 本学修了後のキャリアアップ

大学教員、病院、自治体、企業、機関、そして修士課程修了後に博士課程への進学など、それまでの経験と大学院で培った知識を融合させて、新たなキャリアの創造が可能です。

研究科説明会・相談会



実施	日時	場所
第1回	2025年5月10日(土) 17:00～19:00	三田キャンパス
第2回	2025年8月22日(金) 18:30～20:30	信濃町キャンパス
第3回	2025年9月20日(土) 未定	信濃町キャンパス

- ・説明会・相談会では研究科の概要説明などを行います。
- ・指導を受けることを希望している教員と面談を希望される場合には、前ページのメールアドレスに直接ご連絡ください。
- ・看護学基礎教育課程以外の課程を卒業された方、もしくは卒業見込みの方は、必ず説明会・相談会にご参加いただき、出願についてご相談ください。
- ・第3回の開催時間および詳細は右記のQRコードからご確認ください。



入学試験日程

修士課程

実施	試験日	試験科目	合格発表日	出願期間
第Ⅰ期	2025年7月5日(土)	小論文・面接	7月10日(木)	6月5日～6月11日
第Ⅱ期	2025年11月8日(土)	小論文・面接	11月20日(木)	10月9日～10月15日
第Ⅲ期	2026年1月17日(土)	小論文・面接	1月22日(木)	12月12日～12月16日

後期博士課程

実施	試験日	試験科目	合格発表日	出願期間
前期	2025年11月8日(土)	面接	11月20日(木)	10月9日～10月15日
後期	2026年1月17日(土)	面接	1月22日(木)	12月12日～12月16日

- ・希望する専門分野を担当する教員と受験前に面談することを推奨いたします。オンラインによる面談も可能です。
- ・後期博士課程は、出願前に希望する指導教員に連絡し、研究計画等について説明・相談を行ってください。

大学院健康マネジメント研究科看護学専攻 専門分野のご案内

学際的で豊かな知識と高い倫理性に裏打ちされた既存の枠組みにとどまらない構想力、複雑かつ先進的な健康課題を包括的に理解するための臨床判断能力、Evidence-based practice および理論や概念基盤に基づいた最善のアウトカムをもたらすケア実践能力を修得し、看護ケアの新しいあり方を開発・構築、実践できる人材を養成することを目的としています。看護学専攻専門分野には以下の14分野があります。（★専門看護師プログラム併設）

ライフステージケア領域

母性看護

女性の健康や周産期に関する課題を特定し、エビデンスに基づく解決策を探求します。母性看護を発展させ、臨床実践に変革をもたらす研究者・実践家に必要な思考力／研究実践力の獲得を目指します。（細坂泰子hososaka・辻恵子tsujik）

老年看護



高齢者に優しいコミュニティ（Age-Friendly Community）の実現に向けて、医療機関・高齢者施設・地域・在宅ケア・看護系大学・民間企業など、さまざまな場での貢献につながる学びを提供します。看護学の教員に加え、医師・リハビリテーション専門職・法学者・海外の研究者などと連携しており、学際的な学習を深めることができます。（深堀浩樹fukahori・新井康通yasuarai）

小児看護

病院に入院しているこどもだけではなく、地域で暮らしているこどもとその家族、さらにそのこどもと家族を支えている専門職の方たちを支えるために必要なスキルを身につけ、実践的に動くことが出来る人材育成を目指します。（添田英津子soeda・富崎悦子etomi）

基礎看護

看護実践の場面の看護の現象を言語化したり、そこに潜む看護技術を探求して、EBPに資する研究の推進を目指しています。高度実践看護の追究と、現場への実装・普及に活かす能力の向上に取り組んでいます。（鈴木美穂mhsz）

成人看護

脳卒中・糖尿病・心不全などの慢性・長期的な病いや障害をもつ人の最適な健康状態の維持・調整に焦点を当て、理論や概念、研究法を学び、より効果的なケアにつながる質の高い研究、教育、看護実践ができる人材育成を目指します。（矢ヶ崎香yagasaki・堀口崇takhorig・大坂和可子osakawa）

精神看護



精神保健医療福祉に係る課題を的確に把握・分析し、精神看護のあり方を探求し、対象のQOL向上に寄与する卓越した実践、研究ができる人材の育成を目指しています。（野末聖香nozue・増田真也smasuda・福田紀子nfukuda）

がん看護



がん医療における複雑かつ先進的な健康課題を探求し、最善のアウトカムをもたらす看護実践能力を修得するとともに、新たながん看護を開発・構築・実践できる研究・教育者および高度専門看護実践者の育成を目指します。（矢ヶ崎香yagasaki）

遺伝看護



遺伝/ゲノム医療の現状や課題の探求とともに、生命の本質に向き合うことを大切にしています。遺伝/ゲノム情報がもたらす未来に向けて、先進的な挑戦ができる研究者、教育者、そして高度実践看護師の人材育成を目指しています。（村上好恵ymura）

先端看護

看護における問題解決力を高め、科学や科学技術における先進的な課題と真理を見出す力を養い、看護学の新機軸に挑戦していきます。看護学の基盤を強化するための学際的研究による専門基礎分野への寄与と看護実践や看護教育に貢献する人材の育成を目指します。（藤井千枝子chieko・宮川祥子miyagawa）

在宅看護

在宅ケアは住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために大きな役割を果たします。在宅看護実践やケア機関間の連携、ケアシステム構築等に焦点を当て、高度実践や研究に関与する人材の育成を目指します。（永田智子satokon）

公衆衛生看護

公衆衛生看護学において、デジタルトランスフォーメーション化する社会の変化などを踏まえつつ、鳥瞰的な立場で考えることのできる専門職や教育・研究者としての素養を育成します。地区診断やプログラム評価等の方法論を看護学の視点で学び高度実践力を身に着けます。また、基礎的な研究能力を習得し、公衆衛生看護学の発展に貢献できる人材育成を目指します。（田口敦子ataguchi・杉山大典dsugisfc）

国際保健看護

「すべての人に健康を」というグローバルヘルス分野における目標に向けて、現代社会における課題を明らかにし、健康格差の是正を目指し、看護が人々の健康にどのように貢献できるかを科学的根拠に基づきながら、実践・研究することができる地方を養います。それらをもとに、国際的に活躍できる人材の育成を目指します。（藤屋リカrfujiya）

看護管理・政策

優れた成果を生み出すマネジメントについて、従来の経営学に行動経済学等の観点を加えて幅広く探求し、高いマネジメント力を育成します。Evidence Based Policy Makingのプロセスを用いて政策分析を行い、政策提言に資する研究手法の獲得を目指します。（小池智子koiketom）

看護学教育

看護学教育の要となる知識・理論並びに方法論、技法を学ぶとともに、看護や教育に対する価値観や態度を養います。看護学教育を基盤に、看護専門職者の成長や発展を促進する働きかけについて実践的に学びます。（福井里佳fukufuku）

クリニカルケア領域

コミュニティケア領域

システムケア領域

* メールでご相談を希望される場合、希望される教員氏名の後の英字文字列に @sfc.keio.ac.jp を付けてご連絡ください。

修了生の声



私は臨床において看護職としての伸び悩みを実感し、修士課程に入学しました。これまで研究の実績はなかったのですが、指導教員が専門的かつ丁寧に指導してくださり、自分の関心のある「看護職のキャリア形成」に関するテーマで、充実した研究を行うことができました。研究成果を論文としてまとめたことや、授業での学びを通して様々な学びを得ることができ、大学院進学という挑戦をして良かったなと振り返っています。

(看護管理・政策分野 修士課程修了 大野星子)

修士課程では、専門分野の基礎理論と方法論を自身の経験と結びつけながら学び、これまでの実践を省察することができました。研究のプロセスでは、自身の疑問を探究する楽しさと、科学的思考を持ち、言語化することの難しさを感じました。大変な時も、丁寧に指導してくださる先生方や向上心を持った同期の存在が支えになり、また医療・看護以外のバックグラウンドを持つ他専攻の学生との交流は自身の視野を大きく広げてくれました。

(看護学教育分野 修士課程修了 伊東亜依)



行政保健師としての活動で感じたワクチン忌避という課題に取り組みたい思いから進学しました。小さな子供2人を育てながらの学位取得は容易ではありませんでしたが、先生方や看護学専攻の仲間、家族の温かい支えに励まされ無事に修了することができました。現在は大学教員として勤務しており、今後は看護実践に活用できる知見の創出に寄与できるよう精進していきたいと考えています。

(在宅看護学分野 後期博士課程修了 加藤由希子)



Contact

Keio University



慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411

Tel : 0466-49-6200

E-mail: nmc-staff-admissions@adst.keio.ac.jp

HP : <https://gshm.sfc.keio.ac.jp/education/nursing/>

* 看護学専攻のページのURLです

